

ギョウジャニンニク ユリ科

Allium victorialis L. subsp. *platyphyllum* Hultén

鳥取県：絶滅危惧I類(CR+EN)

環境省：—



若桜町 2009.6.15/撮影：坂田成孝

■**選定理由**：県内での自生地は1カ所のみ。ここ5年ほど毎年観察が行われているが、全体に個体群が衰退ぎみであり、今後が心配される。

■**特徴**：深山の林床に群生する夏緑性の多年生草本。茎の下部に大型で長楕円形の葉を2-3枚つける。葉鞘は長く茎を抱く。高さ50 cmほどの茎の茎頂に1個の散形花序をつけ、6月ころ白色の花を咲かせる。強いネギ臭があり、鱗茎は食用になるため採取される。自生地は人里から離れた山中であり、植栽起源の可能性は低い。ここ2-3年、開花する個体が著しく減少し、2009年は4個体のみであった。

■**分布** 県内：若桜町。県外：北海道，本州（近畿以北）。北東アジアからシベリア東部。

■**保護上の留意点**：山地溪谷の自然林保護と保全の啓発。採取防止。

■**特記事項**：鳥取県条例採取禁止指定種

■**文献**：54.